

2027年度

学 生 募 集 要 項

【一般選抜】

※ 出願はインターネット出願となります。出願に必要な書類は配布していません。



目 次

I	教育研究上の目的及び教育目標（学部）	1
II	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	2
1	保健医療福祉学部の入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー） ...	2
2	各学科・専攻の入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）	2
III	一般選抜	7
1	入学定員と募集人員	7
2	出願要件	7
3	選抜方法	7
4	出願手続	13
5	入学検定料の支払いについて	15
6	合格発表	15
7	追加合格	16
IV	入学手続等	17
1	入学手続	17
2	初年度納付金	17
3	入学試験成績の開示	18
4	個人情報の取扱い	18
5	その他	19
V	試験会場案内	20
	インターネット出願の流れ	21

不測の事態が発生した場合、本選抜に関する情報提供は、次の web サイト等により行うので、出願及び受験の直前は特に注意してください。（URL : <https://www.spu.ac.jp/>）

基 本 理 念

本学は、陶冶、進取、創発を基本理念として、保健医療福祉に関する教育・研究の中核となって地域社会に貢献します。

【陶冶】誠実で温かい心と主体性を持ち、多様な価値観を尊重する人間性を磨き高める

【進取】広く先達に学びつつ、未来を志向する教育・研究に取り組む

【創発】多様な連携を通じて、予測を遥かに超える新たな価値を創造する

I 教育研究上の目的及び教育目標（学部）

1 教育研究上の目的

現代社会を構成する市民としての豊かな教養、確かな倫理観と人間観を基盤に、保健医療福祉分野における専門的な知識と技術とともに多職種との連携と協働に必要な能力をもって、人々の健康と生活を統合的に支え共生社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。

2 教育目標

（1）豊かな人間性

人間が存在することの意義を理解し、その尊厳と基本的人権の尊重に基づき活動できる豊かな人間性と高い倫理観をもつこと。

（2）創造力に富む知性

様々な現象を科学的、客観的に捉え、批判的な思考(critical thinking)に基づいて主体的かつ創造的に探究する知性をもつこと。

（3）高い専門性と連携力

社会の信頼と要請に応える高い専門的知識と技術を修得しつつ、幅広い学問領域の知識や技術を活かしながら多様な人々と連携できる専門性をもつこと。

（4）国際性と地域性に基づく協働力

保健医療福祉に関わる現象をグローバルな視点で理解しつつ、地域の人々と協働してその特性に応じた活動ができる能力をもつこと。

Ⅱ 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

1 保健医療福祉学部の入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

埼玉県立大学保健医療福祉学部では、多様な人や地域が有機的に結びつく現代のグローバル社会において、人々が健康に共生する未来に貢献できる人材を育成するため、ディプロマ・ポリシーに基づくカリキュラムの学修に必要な基本的な能力を以下のように捉え、これらを有する学生を求めています。

1. 豊かな教養と保健医療福祉分野の専門性の学修に必要な基礎的な知識・技能
2. 創造力に富む知性の基盤となる思考力・判断力・表現力などの能力
3. 共生社会の実現を目指して主体的に多様な人々と協働し学ぶことができる態度

○ 入学者選抜の基本方針

一般選抜においては、大学入学共通テストで、①知識・技能や②思考力・判断力・表現力等を評価します。国語、外国語で柱となる基礎学力を、また数学、理科、地歴公民、情報で専門的知識・技術の修得に必要な多様な基礎学力を評価します。さらに小論文を課し、②思考力・判断力・表現力等を評価し、面接および調査書等で、①知識・技能および③主体的に多様な人々と協働しつつ学習できる態度を確認します。

○ 評価項目と評価方法の対応表

入試区分	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度
一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト	◎	◎	
	小論文		◎	
	面接及び調査書等	○		○

◎は特に重視する要素

2 各学科・専攻の入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

【看護学科】

看護学科では、多様な人や地域が有機的に結びつく現代のグローバル社会において、人間の尊厳と人権を尊重し、人々が健康に共生する未来に貢献できる人材を育成するため、ディプロマ・ポリシーに基づくカリキュラムの学修に必要な基本的な能力を以下のように捉え、これらを有する学生を求めます。

1. 看護学の学修に必要な基礎的な知識と技能を有していること
2. 対象の状況に応じて柔軟に考え、物事の本質を深く捉えようとする創造力や探究心を支える知性の基盤となる、思考力・判断力・表現力などの能力を有していること
3. 多様な人々と協働するうえで対象者の価値観を尊重し、思いに共感して傾聴する態度と、良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を有していること

○入学者選抜の基本方針

一般選抜においては、大学入学共通テストで、学部共通の国語、外国語と数学、理科を課し、看護学の学修に必要な①知識・技能と②思考力・判断力・表現力等を評価します。また多様な受験生を受け入れるため、地歴公民、情報で受験生の特性を活かした基礎学力を評価します。さらに小論文を課し、②思考力・判

断力・表現力等を評価し、面接および調査書等で、①知識・技能および③主体的に多様な人々と協働しつつ学習できる態度を確認します。

【理学療法学科】

理学療法学科では、地域やグローバル社会における健康課題に関心を持ち、理学療法を通じて人々の生活の質の向上に主体的に取り組もうとする意欲のある学生を求めます。

1. 理学療法学の学修に必要な基礎的知識・技能を有していること
2. 地域社会における健康課題を理学療法の視点から多角的に捉え、信頼性の高い情報を基に、自らの考えを論理的かつ根拠をもって説明できる力を有していること
3. 他者と協働しながら理学療法に関連する課題に主体的に取り組み、地域や社会の保健医療福祉に貢献しようとする姿勢を有していること

○入学選抜の基本方針

一般選抜においては、大学入学共通テストで、学部共通の国語、外国語と数学、理科を課し、理学療法学の学修に必要な①知識・技能や②思考力・判断力・表現力等を評価します。また多様な受験生を受け入れるため、理科を重視しつつ、地歴公民、情報も選択科目として認め、受験生の特性を活かした基礎学力を評価します。さらに小論文を課し、②思考力・判断力・表現力等を評価し、面接および調査書等で、①知識・技能および③主体的に多様な人々と協働しつつ学習できる態度を確認します。

【作業療法学科】

作業療法学科では、人々の生活とそれを取り巻く様々な環境に関心を持ち、直面する課題を解決するための作業療法の知識と技術を主体的かつ継続的に探求しようとする意欲のある学生を求めます。

1. 作業療法学を学修するための基盤となる基礎的な知識・技能を有していること
2. 作業療法の対象となる人々が直面している課題や背景を多角的に捉えて、自分の考えをまとめ、論理的に説明する力を有していること
3. 作業療法における課題の解決のために、多様な人々と協働する態度を有していること

○入学選抜の基本方針

一般選抜においては、大学入学共通テストで、学部共通の国語、外国語と数学を課し、作業療法学を学ぶために必要な①知識・技能や②思考力・判断力・表現力等を評価します。また多様な受験生を受け入れるため、地歴公民、理科、情報で受験生の特性を活かした基礎学力を評価します。さらに小論文を課し、②思考力・判断力・表現力等を評価し、面接および調査書等で、①知識・技能および③主体的に多様な人々と協働しつつ学習できる態度を確認します。

【社会福祉子ども学科】

社会福祉子ども学科では、すべての人々の尊厳と多様性を尊重し、共生社会の未来に寄与するため、社会福祉子ども学に関する課題に関心を持ち、主体的に学び続ける意欲と姿勢を備えた学生を求めます。

1. 社会福祉子ども学に関する専門的知識や技術を修得するために必要な基礎学力を有していること
2. 社会福祉子ども学分野における課題を多角的に捉え、科学的根拠に基づいて、未来志向で自らの考えを論理的に表現できる力を有していること
3. 共生社会の一員として、多様な人々と協働しながら主体的に学びを深める姿勢を有していること

○入学者選抜の基本方針

一般選抜においては、大学入学共通テストで、学部共通の国語、外国語と地歴公民、数学を課し、社会福祉子ども学に必要な①知識・技能と②思考力・判断力・表現力等を評価します。また多様な受験生を受け入れるため、理科、情報で受験生の特性を活かした基礎学力を評価します。さらに小論文を課し、②思考力・判断力・表現力等を評価し、面接および調査書等で、①知識・技能および③主体的に多様な人々と協働しつつ学習できる態度を確認します。

(社会福祉学専攻)

社会福祉学専攻では、福祉の法制度や実践に関心を持ち、多角的に考察しながら、共生社会の実現に向けた課題に主体的に取り組み、学び続ける意欲をもつ学生を求めます。

1. 社会福祉学分野に関する専門的知識や技術を修得するために必要な学力を有していること
2. 変わりゆく福祉社会の課題を主体的に発見し、科学的根拠に基づいて、自身の考えを論理的に表現する力を有していること
3. 共に生きる社会に関心を持ち、多様な価値観を持つ人と協働し、自ら学びを深める姿勢を有していること

○入学者選抜の基本方針

一般選抜においては、大学入学共通テストで、学部共通の国語、外国語と地歴公民、数学を課し、社会福祉学に必要な①知識・技能と②思考力・判断力・表現力等を評価します。また多様な受験生を受け入れるため、理科、情報で受験生の特性を活かした基礎学力を評価します。さらに小論文を課し、②思考力・判断力・表現力等を評価し、面接および調査書等で、①知識・技能および③主体的に多様な人々と協働しつつ学習できる態度を確認します。

(福祉子ども学専攻)

福祉子ども学専攻では、かけがえのない子ども時代を支える保育を探究するために、子どもや子どもを取りまく環境に関心を持ち、好奇心と自分の可能性を信じて、子ども学の未来に希望をもって行動し努力し続ける力を身につけたい学生を求めます。

1. 子どもとのかかわりを支えるための基本的な知識や倫理観、子どもの育ちへのあくなき探究心を持ち、学修の土台となる学力を有していること
2. 幅広い視野で子どもの姿をとらえ、種々の問題を未来志向で解決する力を有していること
3. 地域や人とのつながりの中で協働しながら子どもの育ちを支える姿勢を有していること

○入学者選抜の基本方針

一般選抜においては、大学入学共通テストで、学部共通の国語、外国語と地歴公民、数学を課し、福祉子ども学に必要な①知識・技能と②思考力・判断力・表現力等を評価します。また多様な受験生を受け入れるため、理科、情報で受験生の特性を活かした基礎学力を評価します。さらに小論文を課し、②思考力・判断力・表現力等を評価し、面接および調査書等で、①知識・技能および③主体的に多様な人々と協働しつつ学習できる態度を確認します。

【健康開発学科】

健康開発学科では人々の健康に貢献できる人材を育成するため、ディプロマ・ポリシーに基づくカリキュラムの学修に必要な基本的な能力を以下のように捉え、これらを有する学生を求めます。

1. 人を思いやれる豊かな人間性と各専攻の学修に必要な基礎的知識を有していること
2. 保健・医療・福祉の諸問題に取り組むための思考力・判断力・表現力を有していること
3. 多様な人々との協働や連携を図ろうとする態度を有していること

○入学者選抜の基本方針

一般選抜においては、大学入学共通テストで、①知識・技能や②思考力・判断力・表現力等を評価します。学部共通の国語、外国語に加え、数学、理科、地歴公民、情報で専門的知識・技術の修得に必要な多様な基礎学力を評価します。さらに小論文を課し、②思考力・判断力・表現力等を評価し、面接および調査書等で、①知識・技能および③主体的に多様な人々と協働しつつ学習できる態度を確認します。

(健康情報学専攻)

健康情報学専攻では、人々の健康と生活支援に関心を持ち、生命科学・社会科学・情報科学の幅広い学識を身につけ、多様な健康課題の解決に主体的に取り組もうとする意欲のある学生を求めます。

1. 情報を適切に収集、分析、解釈することによって、人々の健康と生活を総合的に支えるために必要な基礎的な知識・技能を有していること
2. 多様化・複雑化した保健医療福祉の諸課題に対して分野横断的・多角的に考え、自らの考えを論理的に表現できる力を有していること
3. 多様な他者と協働しながら、文化や制度への理解を深め、グローバル・地域社会双方の課題に対応しようとする積極的な姿勢を有していること

○入学者選抜の基本方針

一般選抜においては、大学入学共通テストで、学部共通の国語、外国語と数学を課し、①知識・技能や②思考力・判断力・表現力等を評価します。また多様な受験生を受け入れるため、地歴公民、理科、情報で受験生の特性を活かした基礎学力を評価します。さらに小論文を課し、②思考力・判断力・表現力等を評価し、面接および調査書等で、①知識・技能および③主体的に多様な人々と協働しつつ学習できる態度を確認します。

(検査技術科学専攻)

検査技術科学専攻では、臨床検査学に関心を持ち、学識をもって社会に貢献できる人材を育成するため、ディプロマ・ポリシーに基づくカリキュラムの学修に必要な基本的な能力を以下のように捉え、これらを有する学生を求めます。

1. 臨床検査に関わる医学的知識を修得する上で必要な基礎学力を有していること
2. 医学的諸問題を客観的に捉える論理的思考力、およびその解決策を見いだそうとする未来指向型の発想力を有していること
3. 臨床検査についての興味や関心、保健医療福祉分野で活躍したいという意思、および様々な人々と協働できる素養を有していること

○入学者選抜の基本方針

一般選抜においては、大学入学共通テストで、学部共通の国語、外国語に加え、理科を重視して課し、①知識・技能や②思考力・判断力・表現力等を評価します。また数学、情報などで専門的知識・技術の修得に必要な基礎学力を評価します。さらに小論文を課し、②思考力・判断力・表現力等を評価し、面接および調査書等で、①知識・技能および③主体的に多様な人々と協働しつつ学習できる態度を確認します。

(口腔保健科学専攻)

口腔保健科学専攻では、幅広い教養や倫理観への関心を持ち、歯科口腔保健分野の専門知識・技術を修得する強い意欲があり、多角的な視点で自ら課題に取り組む力を備え、他者と協力して社会に貢献する意欲と行動力を有する学生を求めます。

1. 保健医療福祉分野および歯科口腔保健分野での専門的な学びを支えるために必要な基礎的な知識・技能を有していること
2. 保健医療福祉の課題について主体的に考え問題解決に導く基盤となる思考力・判断力・表現力などの能力を有していること
3. 共生社会の実現に向けて他者と円滑に連携し主体的かつ協働的に取り組むための態度を有していること

○入学者選抜の基本方針

一般選抜においては、大学入学共通テストで、学部共通の国語、外国語と数学を課し、歯科口腔保健分野の学びに主体的に取り組む姿勢に必要な①知識・技能や②思考力・判断力・表現力等を評価します。また地歴公民、理科、情報で専門的知識・技術の修得に必要な多様な基礎学力を評価します。さらに小論文を課し、②思考力・判断力・表現力等を評価し、面接および調査書等で、①知識・技能および③主体的に多様な人々と協働しつつ学習できる態度を確認します。

Ⅲ 一般選抜

1 入学定員と募集人員

学 部	学 科 (専 攻)	入 学 定 員	募 集 人 数		
			一 般 選 抜	特 別 選 抜	
			前 期 日 程	学校推薦型 選抜	社会人
保 健 医 療 福 祉 学 部	看 護 学 科	130名	65名	65名	若干名
	理 学 療 法 学 科	40名	20名	20名	若干名
	作 業 療 法 学 科	40名	22名	18名	若干名
	社 会 福 祉 子 ども 学 科	70名	39名	31名	若干名
	(社 会 福 祉 学 専 攻)	(50名)	(28名)	(22名)	(若干名)
	(福 祉 子 ども 学 専 攻)	(20名)	(11名)	(9名)	(若干名)
	健 康 開 発 学 科	115名	64名	51名	若干名
	(健 康 情 報 学 専 攻)	(45名)	(27名)	(18名)	(若干名)
	(検 査 技 術 科 学 専 攻)	(40名)	(20名)	(20名)	(若干名)
	(口 腔 保 健 科 学 専 攻)	(30名)	(17名)	(13名)	(若干名)

※学校推薦型選抜の入学手続者がその募集人員に満たない場合は、その欠員を一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。

2 出願要件

次の①、②、③のいずれかに該当し、令和9年度大学入学共通テストの各学科・専攻の指定する教科・科目を受験した者としてします。

- ① 日本の高等学校（特別支援学校高等部を含む。）若しくは中等教育学校を卒業した者又は2027年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は2027年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者

3 選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テスト、小論文、面接試験及び調査書等の提出書類を総合的に判定して行います。配点は、大学入学共通テスト500点、小論文100点、面接試験は点数化していません。（本学で学習する水準に達しているかを確認。）

(1) 選抜期日及び時間割

前期日程：2027年2月25日（木）

時間割	9:00	10:00	10:30	12:00	13:00	17:00
		小論文	休憩	面接	昼食	面接

※個々の面接開始時間は、当日発表します。

(2) 試験会場

埼玉県立大学（埼玉県越谷市三野宮 820 番地）

(3) 持参品

当日は、**本学受験票、大学入学共通テスト受験票、HBの黒鉛筆（シャープペンシル可）、消しゴム、時計（計時機能のみのもの）、昼食**を必ず持参してください。

(4) 大学入学共通テストの教科・科目及び配点

【前期日程】

・看護学科＜5教科5科目＞

教科	科目等	科目選択方法
国語※ ¹	『国語』	必須
地理歴史・公民 (注1)	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』『公共、倫理』 『公共、政治・経済』『地理総合／歴史総合／公共』※ ³	から1(注2)
情報	『情報Ⅰ』	
理科 (注1)	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』※ ⁴ 『物理』『化学』『生物』『地学』	から1
数学	『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ、数学B、数学C』	から1(注2)
外国語※ ²	『英語』(リスニングを含む)	必須

(注1) 第2解答科目は合否判定に採用しない。

(注2) 指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い科目を採用する。

※¹ 国語は、200点満点を100点満点に換算する。

※² 外国語(英語)は、リーディング(100点)とリスニング(100点)の合計(200点満点)をリーディング(150点)とリスニング(50点)の合計200点満点に換算したうえで100点満点に換算する。また、リスニングを免除されている場合は、リーディング(100点)を外国語(英語)の得点とする。

※³ 地理歴史・公民のうち『地理総合／歴史総合／公共』は、2つの出題範囲を選択解答し、1出題科目として扱うこととする。

※⁴ 理科のうち『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、2つの出題範囲を選択解答し、1出題科目として扱うこととする。

＜配点＞

学科(専攻)	国語※ ¹	地理歴史・公民	情報	理科	数学	外国語※ ²	合計
看護学科	100	100 ※いずれか1科目		100	100	100	500

・理学療法学科＜4教科5科目又は5教科5科目＞

教科	科目等	科目選択方法
国語※ ¹	『国語』	必須
地理歴史・公民 (注1)	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』『公共、倫理』 『公共、政治・経済』『地理総合／歴史総合／公共』※ ³	から2(注3)
情報	『情報Ⅰ』	
理科 (注2)	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』※ ⁴ 『物理』『化学』『生物』『地学』	
数学	『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ、数学B、数学C』	から1(注4)
外国語※ ²	『英語』(リスニングを含む)	必須

(注1) 第2解答科目は合否判定に採用しない。

(注2) 第1解答科目は必ず合否判定に採用する。また、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』の「基礎を付した科目」と『物理』『化学』『生物』『地学』の「基礎を付さない科目」について、同一名称を含む組み合わせの採用を可能とする。

(注3) 指定する科目よりも多く受験した場合は、「理科」の1科目(第1解答科目)は必須とした上で、得点の高いもう1科目を合否判定に採用する。なお、「理科」の第2解答科目は合否判定に採用しない。ただし、「理科」を2科目受験し、2科目ともに「地理歴史・公民」及び「情報」の科目よりも高得点だった場合にのみ、「理科」の第1解答科目及び第2解答科目を同時に合否判定に採用する。

(注4) 指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に採用する。

※1 国語は、200点満点を100点満点に換算する。

※2 外国語（英語）は、リーディング（100点）とリスニング（100点）の合計（200点満点）をリーディング（150点）とリスニング（50点）の合計200点満点に換算したうえで100点満点に換算する。また、リスニングを免除されている場合は、リーディング（100点）を外国語（英語）の得点とする。

※3 地理歴史・公民のうち『地理総合／歴史総合／公共』は、2つの出題範囲を選択解答し、1出題科目として扱うこととする。

※4 理科のうち『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、2つの出題範囲を選択解答し、1出題科目として扱うこととする。

<配点>

学 科（専 攻）	国語※1	地理歴史・公民	情報	理科	数学	外国語※2	合計
理学療法学科	100	100 ※いずれか1科目		※理科1科目 採用の場合 100	100	100	500
		0 ※採用しない		※理科2科目 採用の場合 200			

・作業療法学科〈4教科5科目又は5教科5科目〉

教 科	科 目 等	科目選択方法
国 語※1	『国語』	必 須
地理歴史・公民 （注1）	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』『公共、倫理』 『公共、政治・経済』『地理総合／歴史総合／公共』※3	から2（注3）
情 報	『情報Ⅰ』	
理 科 （注2）	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』※4『物理』『化学』『生物』『地学』	
数 学	『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ、数学B、数学C』	から1（注4）
外 国 語※2	『英語』（リスニングを含む）	必 須

（注1）『歴史総合、日本史探究』と『歴史総合、世界史探究』の2科目を受験した場合には、第1解答科目のみを採用する。

（注2）『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』の「基礎を付した科目」と『物理』『化学』『生物』『地学』の「基礎を付さない科目」について、同一名称を含む組み合わせの採用を可能とする。

（注3）指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い2科目を合否判定に採用する。なお、「地理歴史・公民」と「理科」の第2解答科目は合否判定に採用しない。ただし、「地理歴史・公民」、「理科」の教科において、それぞれ2科目受験し、同教科の2科目ともに3つの教科（「地理歴史・公民」、「情報」及び「理科」）の中で他の教科よりも高得点だった場合にのみ、第1解答科目及び第2解答科目を同時に合否判定に採用する。

（注4）指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に採用する。

※1 国語は、200点満点を100点満点に換算する。

※2 外国語（英語）は、リーディング（100点）とリスニング（100点）の合計（200点満点）をリーディング（150点）とリスニング（50点）の合計200点満点に換算したうえで100点満点に換算する。また、リスニングを免除されている場合は、リーディング（100点）を外国語（英語）の得点とする。

※3 地理歴史・公民のうち『地理総合／歴史総合／公共』は、2つの出題範囲を選択解答し、1出題科目として扱うこととする。

※4 理科のうち『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、2つの出題範囲を選択解答し、1出題科目として扱うこととする。

<配点>

学 科（専 攻）	国語※1	地理歴史・公民	情報	理科	数学	外国語※2	合計
作業療法学科	100	200 ※いずれか2科目			100	100	500

・社会福祉子ども学科（社会福祉学専攻・福祉子ども学専攻）〈5教科5科目〉

教科	科目等	科目選択方法
国語※ ¹	『国語』	必須
地理歴史・公民 (注1)	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』『公共、倫理』 『公共、政治・経済』『地理総合／歴史総合／公共』※ ³	から1
情報	『情報Ⅰ』	から1（注2）
理科 (注1)	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』※ ⁴ 『物理』『化学』『生物』『地学』	
数学	『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ、数学B、数学C』	から1（注2）
外国語※ ²	『英語』（リスニングを含む）	必須

（注1）第2解答科目は合否判定に採用しない。

（注2）指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い科目を採用する。

※1 国語は、200点満点を100点満点に換算する。

※2 外国語（英語）は、リーディング（100点）とリスニング（100点）の合計（200点満点）をリーディング（150点）とリスニング（50点）の合計200点満点に換算したうえで100点満点に換算する。また、リスニングを免除されている場合は、リーディング（100点）を外国語（英語）の得点とする。

※3 地理歴史・公民のうち『地理総合／歴史総合／公共』は、2つの出題範囲を選択解答し、1出題科目として扱うこととする。

※4 理科のうち『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、2つの出題範囲を選択解答し、1出題科目として扱うこととする。

<配点>

学科（専攻）	国語※ ¹	地理歴史・公民	情報	理科	数学	外国語※ ²	合計
社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻 福祉子ども学専攻	100	100	100 ※いずれか1科目		100	100	500

・健康開発学科 健康情報学専攻〈5教科5科目〉

教科	科目等	科目選択方法
国語※ ¹	『国語』	必須
地理歴史・公民 (注1)	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』『公共、倫理』 『公共、政治・経済』『地理総合／歴史総合／公共』※ ³	から2（注2）
情報	『情報Ⅰ』	
理科 (注1)	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』※ ⁴ 『物理』『化学』『生物』『地学』	
数学	『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ、数学B、数学C』	から1（注3）
外国語※ ²	『英語』（リスニングを含む）	必須

（注1）第2解答科目は合否判定に採用しない。

（注2）指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い科目を採用する。ただし、同じ教科からは、1科目（第1解答科目）のみを合否判定に採用する。

（注3）指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い科目を採用する。

※1 国語は、200点満点を100点満点に換算する。

※2 外国語（英語）は、リーディング（100点）とリスニング（100点）の合計（200点満点）をリーディング（150点）とリスニング（50点）の合計200点満点に換算したうえで100点満点に換算する。また、リスニングを免除されている場合は、リーディング（100点）を外国語（英語）の得点とする。

※3 地理歴史・公民のうち『地理総合／歴史総合／公共』は、2つの出題範囲を選択解答し、1出題科目として扱うこととする。

※4 理科のうち『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、2つの出題範囲を選択解答し、1出題科目として扱うこととする。

<配点>

学 科 (専 攻)	国語※ ¹	地理歴史 ・ 公民	情報	理科	数学	外国語※ ²	合計
健康開発学科 健康情報学専攻	100	200 ※いずれか2科目。 ただし、同一教科からは1科目のみ採用			100	100	500

・健康開発学科 検査技術科学専攻〈4教科5科目〉

教 科	科 目 等	科目選択方法
国 語※ ¹	『国語』	必 須
理 科	『物理』『化学』『生物』『地学』	から2
情 報	『情報Ⅰ』	から1（注1）
数 学	『数学Ⅰ，数学A』『数学Ⅱ，数学B，数学C』	
外 国 語※ ²	『英語』（リスニングを含む）	必 須

（注1）指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い科目を採用する。

※1 国語は、200点満点を100点満点に換算する。

※2 外国語（英語）は、リーディング（100点）とリスニング（100点）の合計（200点満点）をリーディング（150点）とリスニング（50点）の合計200点満点に換算したうえで100点満点に換算する。また、リスニングを免除されている場合は、リーディング（100点）を外国語（英語）の得点とする。

<配点>

学 科 (専 攻)	国語※ ¹	地理歴史 ・ 公民	数学	情報	理科	外国語※ ²	合計
健康開発学科 検査技術科学専攻	100		100 ※いずれか1科目		200	100	500

・健康開発学科 口腔保健科学専攻〈4教科5科目又は5教科5科目〉

教 科	科 目 等	科目選択方法
国 語※ ¹	『国語』	必 須
地理歴史 ・ 公民 （注1）	『地理総合，地理探究』『歴史総合，日本史探究』 『歴史総合，世界史探究』『公共，倫理』 『公共，政治・経済』『地理総合／歴史総合／公共』※ ³	から2（注3）
情 報	『情報Ⅰ』	
理 科 （注2）	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』※ ⁴ 『物理』『化学』『生物』『地学』	
数 学	『数学Ⅰ，数学A』『数学Ⅱ，数学B，数学C』	から1（注4）
外 国 語※ ²	『英語』（リスニングを含む）	必 須

（注1）『歴史総合，日本史探究』と『歴史総合，世界史探究』の2科目を受験した場合には、第1解答科目のみを採用する。

（注2）『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』の「基礎を付した科目」と『物理』『化学』『生物』『地学』の「基礎を付さない科目」について、同一名称を含む組み合わせの採用を可能とする。

（注3）指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い2科目を合否判定に採用する。なお、「地理歴史・公民」と「理科」の第2解答科目は合否判定に採用しない。ただし、「地理歴史・公民」、「理科」の教科において、それぞれ2科目受験し、同教科の2科目ともに3つの教科（「地理歴史・公民」、「情報」及び「理科」）の中で他の教科よりも高得点だった場合にのみ、第1解答科目及び第2解答科目を同時に合否判定に採用する。

（注4）指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に採用する。

※1 国語は、200点満点を100点満点に換算する。

※2 外国語（英語）は、リーディング（100点）とリスニング（100点）の合計（200点満点）をリーディング（150点）とリスニング（50点）の合計200点満点に換算したうえで100点満点に換算する。また、リスニングを免除されている場合は、リーディング（100点）を外国語（英語）の得点とする。

※3 地理歴史・公民のうち『地理総合／歴史総合／公共』は、2つの出題範囲を選択解答し、1出題科目として扱うこととする。

※4 理科のうち『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、2つの出題範囲を選択解答し、1出題科目として扱うこととする。

<配点>

学 科 (専 攻)	国語※ ¹	地理歴史・公民	情報	理科	数学	外国語※ ²	合計
健康開発学科 口腔保健科学専攻	100	200 ※いずれか2科目			100	100	500

(5) 小論文及び面接試験（調査書等含む）の配点

(ア) 小論文 100点

(イ) 面接 本学で学修するための水準を満たしているか否か確認します。

※面接試験で「否」となった場合には、大学入学共通テスト及び小論文の点数に関わらず不合格となります。

(6) 2段階選抜

出願者数が各学科・専攻ごとの募集人員に対する次の表の倍率を超えた場合は、2段階選抜を行うことがあります。

2段階選抜を行う場合は、大学入学共通テストの成績により第1段階選抜を実施し、その合格者に対して小論文及び面接試験（調査書等を含む）を行います。

(ア) 第1段階選抜の倍率

学 科 (専 攻)	前期日程	学 科 (専 攻)	前期日程
看護学科	5倍	健康開発学科 (健康情報学専攻) (検査技術科学専攻) (口腔保健科学専攻)	5倍 5倍 5倍
理学療法学学科	5倍		
作業療法学学科	5倍		
社会福祉子ども学科 (社会福祉学専攻) (福祉子ども学専攻)	5倍 5倍		

(イ) 2段階選抜を実施した場合

第1段階選抜の結果は、合格者に対しては「埼玉県立大学受験票」をインターネット出願システムから配信します。また、不合格者に対しては「第1段階選抜結果通知書」を郵送により発送します。

なお、2段階選抜を実施しない場合は、志願者全員に「埼玉県立大学受験票」をインターネット出願システムから配信します。

受験票配信及び通知書発送日 2027年2月9日（火）

(7) 受験上の注意

- ア 受験者は、試験開始20分前（午前8時40分）までに指定された教室に入室し、着席してください。
- イ 小論文試験開始後は、20分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。
- ウ 各自の指定された面接開始時に不在であった場合には、欠席したものとして取り扱います。
- エ 小論文及び面接のいずれか一方でも受験しなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。
- オ 当日は、**受験票（大学入学共通テスト受験票及び本学受験票）**、**HBの黒鉛筆（シャープペンシル可）**、**消しゴム**、**時計（計時機能のみのもの）**、**昼食**を必ず持参してください。
- カ 試験の際、受験票は試験監督員に明示できるよう机の上に置いてください。
- キ 当日、受験票を忘れた者は、速やかに試験実施本部で仮受験票の交付を受けてください。
- ク **受験票は入学手続の際に必要となるので、試験後も大切に保管してください。**
- ケ **試験室に時計はありませんので、必ず持参してください。**なお、使用を許可する時計は、計時機能の

みのものに限ります。

- コ 小論文試験の時間中に使用を許可するものは、鉛筆、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能のみのも
の）に限ります。
- サ **スマートフォン、携帯電話等は、教室に入る前に必ず電源を切っておいてください。**これらを時計と
して使用することはできません。
- シ 試験会場では昼食の販売は行いませんので、各自で準備してください。昼食場所は試験会場の教室で
す。ごみは各自で持ち帰ってください。
- ス 試験当日は駐車場を利用できませんので、公共交通機関を利用してください。
- セ その他変更等が生じた場合には、本学 web サイト等でお知らせします。

（８）感染症対策に関して

試験場内では、感染症対策のため、マスクの着用をお願いする場合がありますので、ご理解・ご協力をお
願いいたします。

４ 出願手続

**※インターネット出願を導入しています。詳しい手続方法は、本冊子 P. 21「インターネット出
願の流れ」を確認してください。**

（１）出願期間

2027年1月25日（月）～ 2月3日（水） ※最終日17：00必着

（インターネット（出願サイト）での出願登録期間は1月22日（金）10時～2月3日（水）
14時です。）

ただし、出願期間を過ぎて2月4日（木）正午までに到着した出願書類のうち、2月2日（火）までの
発信局消印のある一般書留（速達）郵便に限り受理します。

（２）出願方法

インターネットで出願登録、入学検定料支払後にダウンロードできる書類を印刷し、その他必要書類と
併せて「**一般書留郵便**」で郵送してください。この郵送書類の到着をもって正式に出願となります。出願
は郵送に限り、いかなる場合も直接持参による出願は認めません。必要に応じて、一般書留速達郵便を使
用してください。**インターネットで出願登録しただけでは出願は完了しませんのでご注意ください。**

（３）出願先

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮 820 番地
埼玉県立大学事務局教務・入試担当 電話 048-973-4117(直通)

(4) 出願書類

必要な書類	書類作成上の注意
W e b 志 願 票	インターネット出願システムで出願登録、入学検定料支払後に紙で志願票を出力することができます。 本学では、大学入学共通テストの成績請求にWeb方式を利用しています。インターネット出願システム上の画面の指示に従って、大学入学共通テストに出願した際に発行される申込番号等の必要事項を入力してください。
調査書	① 文部科学省所定の様式により高等学校長が作成し、厳封してください。 ② 高等専門学校第3学年修了者及び、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者の調査書については、文部科学省所定の様式に準じて作成したものを提出してください。 ③ 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格（フランス共和国）取得者、文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び高等学校卒業程度認定試験合格者（従前の大学入学資格検定合格者を含む。）については、当該試験等の成績証明書をもって調査書に代えることができます。 なお、高等学校卒業程度認定試験（従前の大学入学資格検定）に合格し、一部の科目を高等学校等で修得している者は、当該学校の調査書も併せて提出してください。
出願書類提出用宛名用紙	インターネット出願システムで出願登録、入学検定料支払い後に紙で出力することができます。角2封筒（24.0cm×33.2cm）に貼って、出願書類を大学に郵送してください。

(5) 出願手続上の注意事項

- ア 令和9年度大学入学共通テストで、本学が指定した教科・科目を受験しているか十分に確認のうえ、出願してください。
- イ 出願書類がすべてそろっていない場合は、受理できません。
- ウ 出願書類受理後には、いかなる理由があっても、学科・専攻等の出願事項の変更は認めません。
ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、「(3)出願先」まで速やかに連絡してください。
- エ 受験票は、本学で出願を確認後、2月9日（火）に一齐にインターネット出願システムに配信します。インターネット出願システムのマイページからダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷してください。試験当日と、合格した場合の入学手続で使用します。上記の日までに届かない場合は、「(3)出願先」までお問い合わせください。
- オ 入学を許可した後であっても、提出された出願書類の記載と相違する事実が発見された場合には入学を取り消すことがあります。
- カ 一度受理した出願書類は返却しません。また、入学検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

(1) 検定料の返還請求ができるもの

次の、ア)、イ)の者には入学検定料のうち17,000円を、ウ)、エ)の者には入学検定料のうち13,000円を返還します。

ア) 検定料を払い込んだが、出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合

イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

- ウ) 出願書類受理後、本学が指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験していないため、出願資格がないことが判明した者
- エ) 第1段階選抜を実施した場合の不合格者（2段階選抜の実施については、P.12「(6) 2段階選抜」をご確認ください。）

(2) 返還請求の方法

本学 Web サイトの入試情報ページ（「入試情報」→「学部入試」「検定料等の返還について」）より返還請求書をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ、必要に応じて簡易書留等到着が確認できる方法で速やかに送付してください。

(6) 障害等のある入学志願者の事前相談

障害等のある入学志願者で、特別な配慮を必要とする場合は、**2026年12月25日（金）まで**に埼玉県立大学事務局教務・入試担当まで連絡してください。事前の相談が必要です。

※本学 Web サイト及び「2027 年度埼玉県立大学入学者選抜要項」において、すでにご案内済みです。

(7) 個別の入学資格審査の事前相談

学校教育法施行規則第150条第7号に基づく入学資格審査を希望する場合、大学入学共通テストを受験された後において、大学入学共通テストの結果等を考慮して志望大学を変更し、他大学から本学への入学を希望される方は、個別の入学資格審査の対象となる場合もありますので、本学の一般選抜試験を出願する前に事前相談を行ってください。

(8) 留意事項

ア 一般選抜に出願する場合、国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）のうち、前期日程の試験を実施する大学・学部から1つ、後期日程の試験を実施する大学・学部から1つ出願することができます。国公立大学・学部の前期日程を複数出願したり、後期日程を複数出願したりすることはできません。

※独自日程で入学者選抜試験を行っている公立大学・学部については、公立大学協会の Web サイトを参照してください。（<https://www.kodaikyo.org/>）

イ 国公立大学・学部の学校推薦型選抜・総合型選抜の合格者は、他の国公立大学・学部の選抜試験を受験しても合格者とはなりません。ただし、それぞれの選抜で合格した国公立大学・学部の定める手続により入学の辞退を許可された場合を除きます。

5 入学検定料の支払いについて

入学検定料 17,000 円

本冊子 P.23「インターネット出願の流れ」の STEP 5 を参照し、検定料を支払ってください。

6 合格発表

(1) 発表期日

2027年3月9日（火）午前10時

(2) 発表方法

本学 Web サイトで発表するとともに、合格者にのみインターネット出願サイトから通知します。電話、郵便、電子メール等による照会には一切応じません。

※閲覧期間は、合格発表日時から入学手続完了日までです。

（本学 Web サイト：<https://www.spu.ac.jp>）

7 追加合格

各学科・専攻の募集人員に欠員が生じた場合には、追加合格を行います。

(1) 対象者

本学の前期日程の受験者で、いずれの国公立大学・学部にも入学手続を行っていない者。

※合格発表の際、追加合格候補者の受験番号及び順位は発表しません。

(2) 追加合格の連絡方法

①追加合格の実施の有無及び手続について、3月19日（金）前後に本学 Web サイトにて発表します。

②**2027年3月28日(日)から2027年3月31日(水)までに**、電話により直接本人に連絡します。

志願票に記入された「電話番号」又は「携帯電話」に電話をします。**志願票に記入された連絡先に連絡がつかない場合は、原則として、追加合格の対象外となりますので、必ず連絡がとれるようにしてください。**入学手続の方法はその際にお知らせします。

Ⅳ 入学手続等

1 入学手続

(1) 入学手続期間

合格発表後 ～ 3月15日(月) 17時必着

(2) 入学手続方法

- ア 入学手続の詳細及び必要な書類は、合格発表時に出願サイト（入学手続システム）上で案内します。
- イ 手続書類は**原則郵送**により提出してください。**郵送の場合は必ず一般書留郵便（必要に応じて、一般書留速達郵便）とし、入学手続期間最終日の17時必着とします。やむを得ず持参する場合の受付時間は9時から17時まで（正午から13時を除く。）とします。必ず来学前に連絡してください。**
- ウ 入学料等は、合格発表時に案内する入学手続システムから支払いをしてください。
※入学料等のほか、支払方法により手数料がかかります。

(3) 入学手続先

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮 820 番地
埼玉県立大学事務局教務・入試担当 電話 048-973-4117(直通)

(4) 入学手続上の注意事項

- ア **入学手続期間を過ぎて到着した書類は受理しません。**郵送の場合は所要日数を十分考慮して発送してください。
- イ **必要な書類がすべてそろっていない場合には、受理できないことがあります。**書類提出の際は、十分確認してください。
- ウ 一度受理した入学手続書類及び入学料は返還しません。（入学料の減免を申請した方が、入学手続完了後に入学を辞退された場合は、減免申請に伴い納付を猶予していた入学料をお支払いいただきます。）
- エ 合格者が入学期間終了までに入学手続を完了しない場合、合格者としての権利を失いますのでご注意ください。

(5) 留意事項

- ア 一つの国公立大学・学部に入入学手続を行った者は、これを取り消して他の国公立大学・学部に入入学手続を行うことはできません。
- イ 本学及び他の国公立大学・学部の「前期日程」試験に合格し、**2027年3月15日(月)までに入学手続を完了した者は、他の公立大学・学部の「中期日程」及び「後期日程」試験に出願し、受験していても、それぞれの合格者とはなりません。**

2 初年度納付金

区 分		金 額	備 考
入学料	埼玉県内の者	211,500円	入学手続時に納付。 なお、埼玉県内の者とは、次のいずれかに該当する者をいう。 ① 2026年4月1日以前から引き続き埼玉県内に住所を有する者 ② 2026年4月1日以前から引き続き埼玉県内に配偶者又は一親等の直系尊属（父、母等）が住所を有する者 ※埼玉県内に住所を有しているかについては住民票に基づき確認します。②に該当する場合は、住民票と、本人との続柄がわかる書類（戸籍抄本等）で確認します。
	上記以外の者	423,000円	
授業料		621,000円	入学後、前期(4月)、後期(10月)の2回に分けて納付。

注1 2027年度入学者を対象とした金額です。

2 上記のほか、学生教育研究災害傷害保険料、教科書、実習時の交通費等の諸経費がかかります。

3 入学試験成績の開示

個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）に基づき、入学試験の成績（総合得点のみ）を本人に限り開示することができます。希望する方は、埼玉県立大学事務局教務・入試担当に申し出てください。

（１）開示の対象者

一般選抜試験を受験し、不合格であった者

（２）申出の方法

受験者本人が来学、又は郵送により受け付けます。いずれの場合も、受験者本人が申し出るものとし、代理人による申し出はできません。また、電話やメールによる照会には応じません。

①来学して成績開示を申し出る場合

受験者本人が受験票を持参してください。

②郵送により成績開示を申し出る場合

「入試成績開示申請書在中」と朱書きした封筒に、本学受験票、入試成績開示申請書、返信用封筒（長形 3 号）を同封し、郵送してください。（開示期間内必着とします。）

※返信用封筒には、おもて面に、受験者の郵便番号・住所・氏名を明記し、**460円分**の切手を貼ってください。

（３）開示期間

2027年5月6日（木）～5月31日（月）
月～金曜日（祝日を除く） 午前9時～正午、午後1時～午後4時30分

（４）開示場所

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮 820 番地
埼玉県立大学事務局教務・入試担当 電話 048-973-4117(直通)

4 個人情報の取扱い

埼玉県立大学では、個人情報を以下のとおり取り扱いますので、予めご了承ください。

- （１） 個人情報は、個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）に基づき、適正に処理します。法令等の規定に基づくときなどの例外を除き、原則として、第三者に提供することはありません。
- （２） 本学への出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所及びその他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法や志願動向における調査、研究、分析及び⑤これらに付随する業務を行うためだけに利用します。
- （３） 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は、入学者選抜方法における調査、研究、分析を行うためだけに利用します。
- （４） 各種業務での利用においては一部の業務を外部委託することがあります。この場合、受託者には個人情報の保護が義務づけられます。
- （５） 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、一般選抜入試の合格及び入学手続に関する情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。
- （６） 本学への出願にあたってお知らせいただいた個人情報及び入試成績は、入学者のみ入学後の、①教務関係（修学指導等）、②学生支援関係（学籍管理、健康管理、就職支援、授業料免除、奨学金申請の業務等）、③授業料徴収に関する業務を行うためだけに利用します。

5 その他

(1) 高等教育の修学支援新制度について

本学は、2020 年 4 月から実施されている国の高等教育の修学支援新制度の対象校になっています。これは、入学料・授業料の減免と、給付型奨学金とを併せて受けることができる制度です。対象となるには、世帯収入の要件（住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯）や学修意欲に関する要件等を満たしている必要があります。詳細は右の QR コードから文部科学省の web サイトをご確認ください。



(2) 奨学金について

ア 日本学生支援機構貸与型奨学金

独立行政法人日本学生支援機構が経済的理由で修学が困難な優れた学生に学費を貸与する制度です。無利息の第一種奨学金と、利息付の第二種奨学金があります。詳細は右の QR コードから日本学生支援機構の web サイトをご確認ください。

イ その他、地方公共団体や民間団体、病院等が実施する奨学金制度があります。



(3) 入学時のアパート等について

本学には学生寮はありません。2 月上旬頃から埼玉県立大学事務局学生・就職支援担当で大学周辺のアパート等の情報を提供しています。

(4) 後援会への加入について

入学後の学生生活を支援するため、保護者の皆様で後援会を組織しています。入学時に後援会への加入をお願いします。

V 試験会場案内

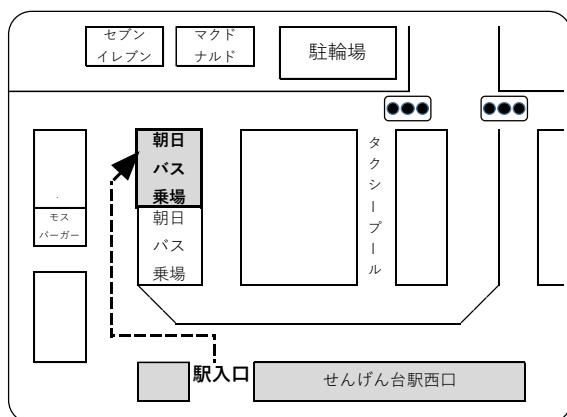
埼玉県立大学
〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820番地
電話 048-973-4117 (教務・入試担当)

* 試験当日は本学駐車場を利用できません。

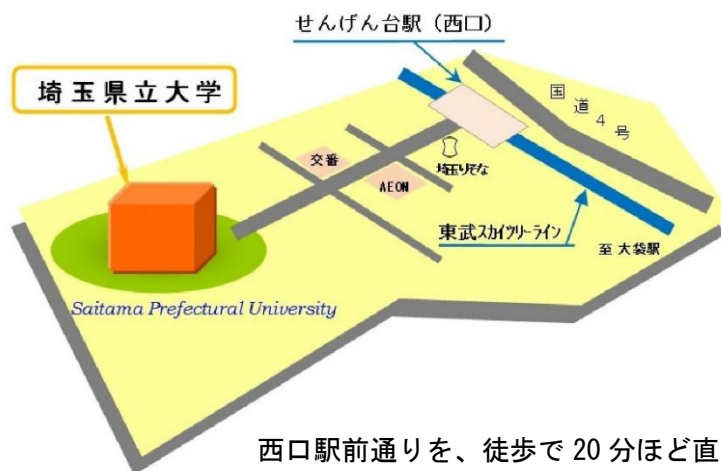
○ 交通

- ・東武スカイツリーライン「せんげん台駅」
西口下車 徒歩約 20 分
- ・県立大学行きバス（朝日バス）約 5 分、
現金・IC カード運賃 200 円

○ 大学行きバス乗り場

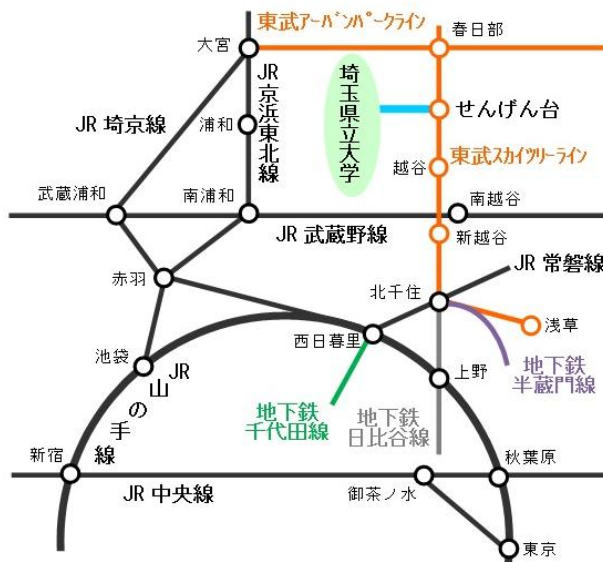


○せんげん台駅から



西口駅前通りを、徒歩で 20 分ほど直進すると
キャンパスがあります。

○ 鉄道路線図



インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。(スマートフォン、タブレットは非推奨)
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。
早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。



(顔写真データ)

※埼玉県立大学は、Web方式です。大学入学共通テスト出願時のID、パスワード、申込番号等を使用します。
※必要書類…調査書、顔写真データなど
※顔写真データ…ファイル種類はjpeg, jpg, png, bmpのいずれか、最大10MBまで
出願前3ヶ月以内に撮影した正面、上半身、脱帽、背景なしのカラー

STEP

2

インターネット出願サイトにアクセス

インターネット
出願サイト

<https://e-apply.jp/ds/spu/>

または、

大学Webサイト

<https://www.spu.ac.jp/admissions/>

からアクセス



STEP

3

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



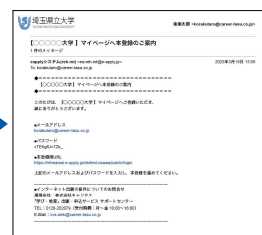
①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



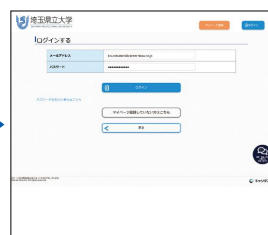
②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



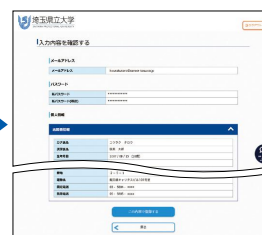
⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると
出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので **ログアウト** ボタンを
クリックしてください。

STEP

4



出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

埼玉県立大学はWeb方式です。出願時には、下記の流れに加えて、大学入学共通テストのID、パスワード、申込
番号等の入力が必要です。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



②入試区分選択と留意事項の
確認



③志望学科等の選択



④顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



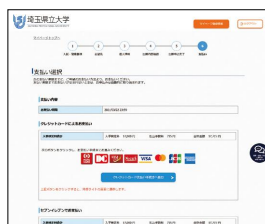
⑤個人情報(氏名・住所等)の
入力



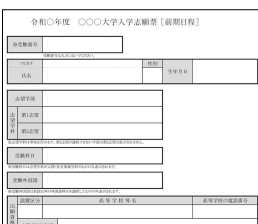
⑥出願内容の確認及び登録
※志願票のテスト出力が出来ますので、誤りがないか必ず確認してください。
大学入試センターへの連携情報の入力
※入力に必要な情報は大学入試センターの
「大学入学共通テスト出願システム」のマイページから確認してください。



⑦申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願に必要な書類PDF
(イメージ)
※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の
選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンス
ストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)
確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁) **5 8 0 2 1** ※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を
許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願
内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP

5

入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機

あなたも、コンビニに、
FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

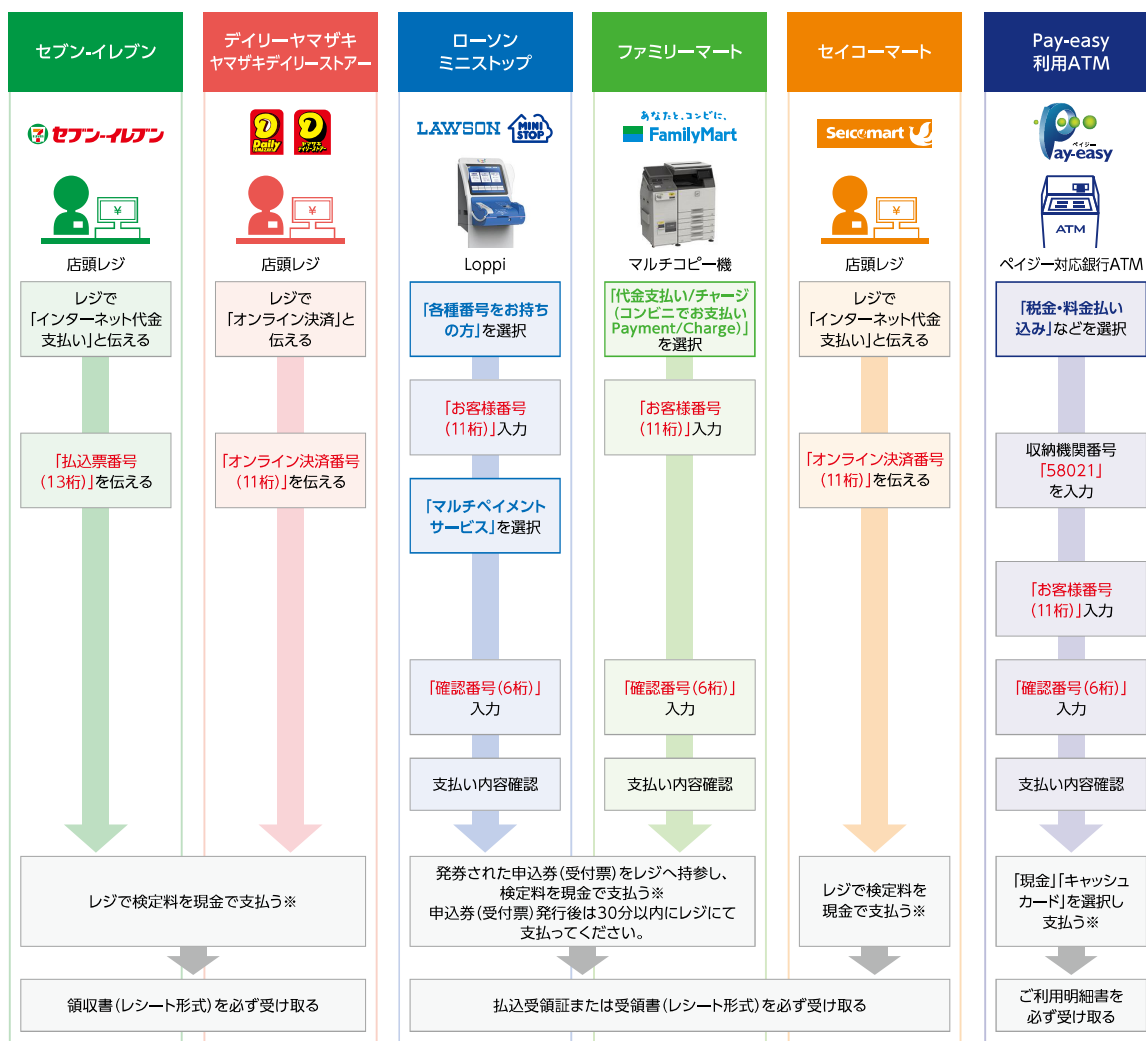
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

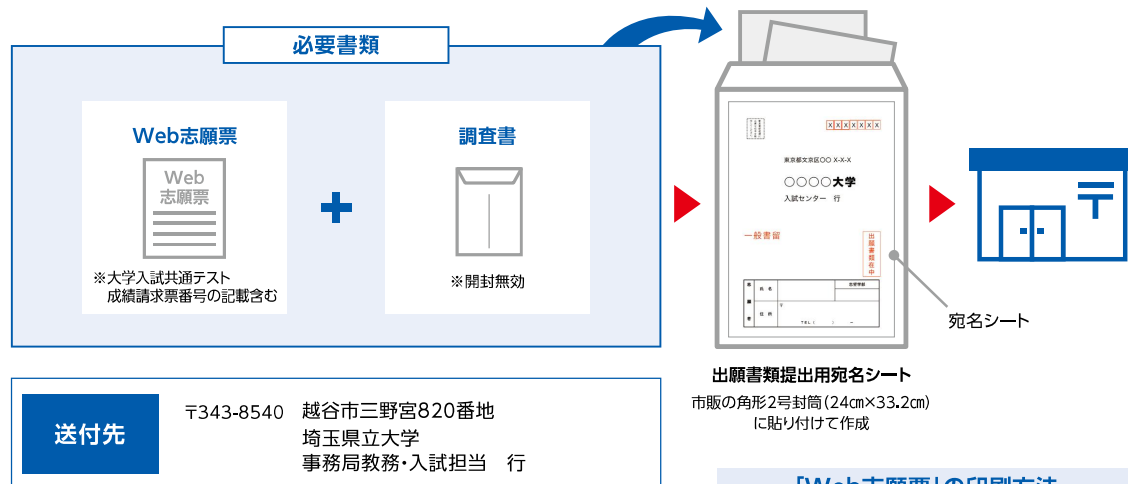
6



必要書類の印刷と郵送

登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を印刷し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「**一般書留郵便**」で郵送してください。必要に応じて一般書留速達を使用してください。※出願締切日17時必着。



送付先

〒343-8540 越谷市三野宮820番地
埼玉県立大学
事務局教務・入試担当 行

■ 出願書類

詳細は募集要項「出願書類」を確認してください。

※出願受理した入学検定料・必要書類は一切返却しません。

「Web志願票」の印刷方法



- (1) マイページに表示された **志願票(印刷)** のボタンをクリックしてください。
- (2) お支払いが正常に完了すると **志願票(印刷)** のボタンがクリックできるようになりWeb志願票の出力ができます。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

インターネット出願は、出願登録期間中、初日と最終日を除き24時間可能です。ただし、入学検定料の支払いは出願締切日まで(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)、必要書類の郵送は出願締切日17時必着です。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7



受験票の印刷

本学で出願を確認後、各入試毎に**出願期間受付終了後から試験前日までに一斉に受験票を配信します**。インターネット出願システムよりダウンロードできる状態にしますので、**必ず印刷してください(※郵送はいたしません)**。

※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。送信元(e@apply.jp)から配信します。

【印刷に関する注意事項】 受験票は必ずA4用紙に**片面印刷**にしてください。



○入試問題の請求方法

以下の方法により過去問題の請求が可能です。

(1) テレメールで請求する

以下 URL から請求してください。請求方法は移動後のページ内の指示に従ってください。

<https://telemail.jp/?des=033771&gsn=0337752>

(2) 郵送で請求する

資料請求票、返信用封筒を本学まで郵送してください。

詳細は本学の Web ページで確認してください。

<https://www.spu.ac.jp/admissions/request/#p3>

(3) 窓口で受け取る

大学の窓口で、過去問題・大学案内を配布しています。

平日 9:00～17:00（正午～13 時を除く）の間に、事務局入試担当窓口へお越しください。

資料配布は、夏季休業期間および年末年始休暇期間には行っておりません。

なお、2026 年度の夏季休業期間（8 月 17 日～8 月 21 日）は既に終了しております。

年末年始休暇期間は 2026 年 12 月 29 日～2027 年 1 月 3 日です。

●本学 web サイト：



<https://www.spu.ac.jp/>

本学の情報や大学案内・過去問題などの資料請求情報をスマートフォン、パソコンで閲覧できます。

●受験生用 web サイト



<https://www.spu-navi.jp>

夢に向かって頑張る受験生を応援するための専用 web サイトを公開しています。

●入試情報

プッシュ通知：



<https://spu-nyushi.pushappuniv.com>

オープンキャンパスの案内や、学生募集要項の公表などについて、通知でお知らせします。

【お問い合わせ先】

埼玉県立大学

Saitama Prefectural University

事務局 教務・入試担当

〒343-8540

埼玉県越谷市三野宮820番地

電話 048-973-4117

FAX 048-973-4808

e-mail nyushi@spu.ac.jp

埼玉県立大学 一般選抜(前期日程) 大学入学共通テスト指定教科・科目 受験科目確認用チェックリスト

出願する前に、各自で必ず出願先の学科・専攻で指定している教科・科目を受験しているか確認してください。備考欄の注意事項もよく確認してください。
こちらのチェックリストは、自身の確認用として使用してください。（※出願時に提出する必要はありません。）

【5教科5科目】 ☐ 看護学科	教科	国語	地理歴史・公民（注1）								情報	理科（注1）								数学		外国語
	科目	国語	地理総合、 地理探究	歴史総合、 日本史探究	歴史総合、 世界史探究	公共、倫理	公共、 政治・経済	2つ選択			情報Ⅰ	2つ選択				物理	化学	生物	地学	数学ⅠA	数学ⅡBC	英語 (リスニング含む)
								地理総合	歴史総合	公共		物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎							
	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	選択数	必須	から1（注2）								から1								から1 （注2）		必須	
備考	（注1）第2解答科目は合否判定に採用しない。 （注2）指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い科目を採用する。																					

【4教科5科目又は5教科5科目】 ☐ 理学療法学科	教科	国語	地理歴史・公民（注1）								情報	理科（注2）								数学		外国語
	科目	国語	地理総合、 地理探究	歴史総合、 日本史探究	歴史総合、 世界史探究	公共、倫理	公共、 政治・経済	2つ選択			情報Ⅰ	2つ選択				物理	化学	生物	地学	数学ⅠA	数学ⅡBC	英語 (リスニング含む)
								地理総合	歴史総合	公共		物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎							
	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	選択数	必須	から2（注3）								から1 （注4）								必須			
備考	（注1）第2解答科目は合否判定に採用しない。 （注2）第1解答科目は必ず合否判定に採用する。また、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』の「基礎を付した科目」と『物理』『化学』『生物』『地学』の「基礎を付さない科目」について、同一名称を含む組み合わせの採用を可能とする。 （注3）指定する科目よりも多く受験した場合は、「理科」の1科目（第1解答科目）は必須とした上で、得点の高いもう1科目を合否判定に採用する。なお、「理科」の第2解答科目は合否判定に採用しない。ただし、「理科」を2科目受験し、2科目ともに「地理歴史・公民」及び「情報」の科目よりも高得点だった場合にのみ、「理科」の第1解答科目及び第2解答科目を同時に合否判定に採用する。 （注4）指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に採用する。																					

【4教科5科目又は5教科5科目】 ☐ 作業療法学科	教科	国語	地理歴史・公民（注1）								情報	理科（注2）								数学		外国語
	科目	国語	地理総合、 地理探究	歴史総合、 日本史探究	歴史総合、 世界史探究	公共、倫理	公共、 政治・経済	2つ選択			情報Ⅰ	2つ選択				物理	化学	生物	地学	数学ⅠA	数学ⅡBC	英語 （リスニング含む）
								地理総合	歴史総合	公共		物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎							
	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	選択数	必須	から2（注3）																	から1 （注4）	必須	
備考	（注1）『歴史総合、日本史探究』と『歴史総合、世界史探究』の2科目を受験した場合には、第1解答科目のみを採用する。 （注2）『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』の「基礎を付した科目」と『物理』『化学』『生物』『地学』の「基礎を付さない科目」について、同一名称を含む組み合わせの採用を可能とする。 （注3）指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い2科目を合否判定に採用する。なお、「地理歴史・公民」と「理科」の第2解答科目は合否判定に採用しない。ただし、「地理歴史・公民」、「理科」の教科において、それぞれ2科目受験し、同教科の2科目ともに3つの教科（「地理歴史・公民」、「情報」及び「理科」）の中で他の教科よりも高得点だった場合にのみ、第1解答科目及び第2解答科目を同時に合否判定に採用する。 （注4）指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に採用する。																					

【5教科5科目】 社会福祉子ども学科 ☐ 社会福祉学専攻 ☐ 福祉子ども学専攻	教科	国語	地理歴史・公民（注1）								情報	理科（注1）								数学		外国語
	科目	国語	地理総合、 地理探究	歴史総合、 日本史探究	歴史総合、 世界史探究	公共、倫理	公共、 政治・経済	2つ選択			情報Ⅰ	2つ選択				物理	化学	生物	地学	数学ⅠA	数学ⅡBC	英語 （リスニング含む）
								地理総合	歴史総合	公共		物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎							
	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	選択数	必須	から1																	から1（注2）	から1 （注2）	必須
備考	（注1）第2解答科目は合否判定に採用しない。 （注2）指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い科目を採用する。																					

【5教科5科目】 健康開発学科 ☐ 健康情報学専攻	教科	国語	地理歴史・公民（注1）								情報	理科（注1）								数学		外国語
	科目	国語	地理総合、 地理探究	歴史総合、 日本史探究	歴史総合、 世界史探究	公共、倫理	公共、 政治・経済	2つ選択			情報Ⅰ	2つ選択				物理	化学	生物	地学	数学ⅠA	数学ⅡBC	英語 （リスニング含む）
								地理総合	歴史総合	公共		物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎							
		☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	選択数	必須	から2（注2）																から1 （注3）		必須	
備考	（注1）第2解答科目は合否判定に採用しない。 （注2）指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い科目を採用する。ただし、同じ教科からは、1科目（第1解答科目）のみを合否判定に採用する。 （注3）指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い科目を採用する。																					

【4教科5科目】 健康開発学科 ☐ 検査技術科学専攻	教科	国語									理科								情報	数学		外国語
	科目	国語													物理	化学	生物	地学	情報Ⅰ	数学ⅠA	数学ⅡBC	英語 （リスニング含む）
			☐													☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	選択数	必須													から2				から1 （注1）		必須	
	備考	（注1）指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い科目を採用する。																				

【４教科５科目又は５教科５科目】 健康開発学科 ☐ 口腔保健科学専攻	教科	国語	地理歴史・公民（注１）								情報	理科（注２）								数学		外国語
	科目	国語	地理総合、 地理探究	歴史総合、 日本史探究	歴史総合、 世界史探究	公共、倫理	公共、 政治・経済	2つ選択			情報Ⅰ	2つ選択				物理	化学	生物	地学	数学ⅠA	数学ⅡBC	英語 (リスニング含む)
								地理総合	歴史総合	公共		物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎							
		☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	選択数	必須																		から１ (注４)		必須
備考	（注１）『歴史総合、日本史探究』と『歴史総合、世界史探究』の２科目を受験した場合には、第１解答科目のみを採用する。 （注２）『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』の「基礎を付した科目」と『物理』『化学』『生物』『地学』の「基礎を付さない科目」について、同一名称を含む組み合わせの採用を可能とする。 （注３）指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い２科目を合否判定に採用する。なお、「地理歴史・公民」と「理科」の第２解答科目は合否判定に採用しない。ただし、「地理歴史・公民」、「理科」の教科において、それぞれ２科目受験し、同教科の２科目ともに３つの教科（「地理歴史・公民」、「情報」及び「理科」）の中で他の教科よりも高得点だった場合にのみ、第１解答科目及び第２解答科目を同時に合否判定に採用する。 （注４）指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に採用する。																					

＜共通の注意事項＞

- ・国語は、２００点満点を１００点満点に換算する。
- ・外国語（英語）は、リーディング（１００点）とリスニング（１００点）の合計（２００点満点）をリーディング（１５０点）とリスニング（５０点）の合計２００点満点に換算したうえで１００点満点に換算する。また、リスニングを免除されている場合は、リーディング（１００点）を外国語（英語）の得点とする。
- ・地理歴史・公民のうち『地理総合／歴史総合／公共』は、２つの出題範囲を選択解答し、１出題科目として扱うこととする。
- ・理科のうち『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、２つの出題範囲を選択解答し、１出題科目として扱うこととする。